

一日一日を大切にしてお有意義な時間を

校長 佐藤 明子

いよいよ、夏休みが始まります。夏休みは、1学期の生活や学習を見つめ直し、令和4年度の後半に備え、志を新たに、準備をする絶好のチャンスです。

さて、江戸時代の儒学者である新井白石のエピソードに、「一粒の米」があります。新井白石が子供のころ、父から言われた話です。「米びつ（お米を保管しておく容器）から米を、一粒取っても、入れても、量の変化はわからない。」＝1日学習したからといって賢くなるのではない、1日怠けたからといって愚かになるわけでもない。しかし、1年、2年と同じことを続けていけば、必ず変化が見えてくる、という内容です。

夏休みの時間の使い方も同様ではありませんか。得意なことを伸ばす、苦手なことを克服する、これまでやってこなかった学習を手掛ける、家庭の手伝いを決めて継続する、規則正しい生活を続ける……。1ヶ月ある夏休みだからこそ、細かく積み重ねていかななくてはならないことや、時間が掛かることを続けていくことで、必ず成果を得ることが出来ます。そして、この休みの期間に継続できたものは、2学期に入ってからでも続けていくと、さらに素晴らしい結果となっていきます。一日一日を大切にしてお有意義な夏休みになることを期待しています。

一方で、近年は、異常気象に起因した自然の災害、河川や海等の水の事故、山の事故、交通事故、熱中症により重篤な状態に陥る等、残念ながら日本各地で発生しています。特に休みは、旅行先等、日常と異なる環境での活動が増えるため、注意が必要です。くれぐれも安全第一、健康管理にも留意して、8月31日には、清瀬中学校の生徒全員が元気に登校することを祈っています。

